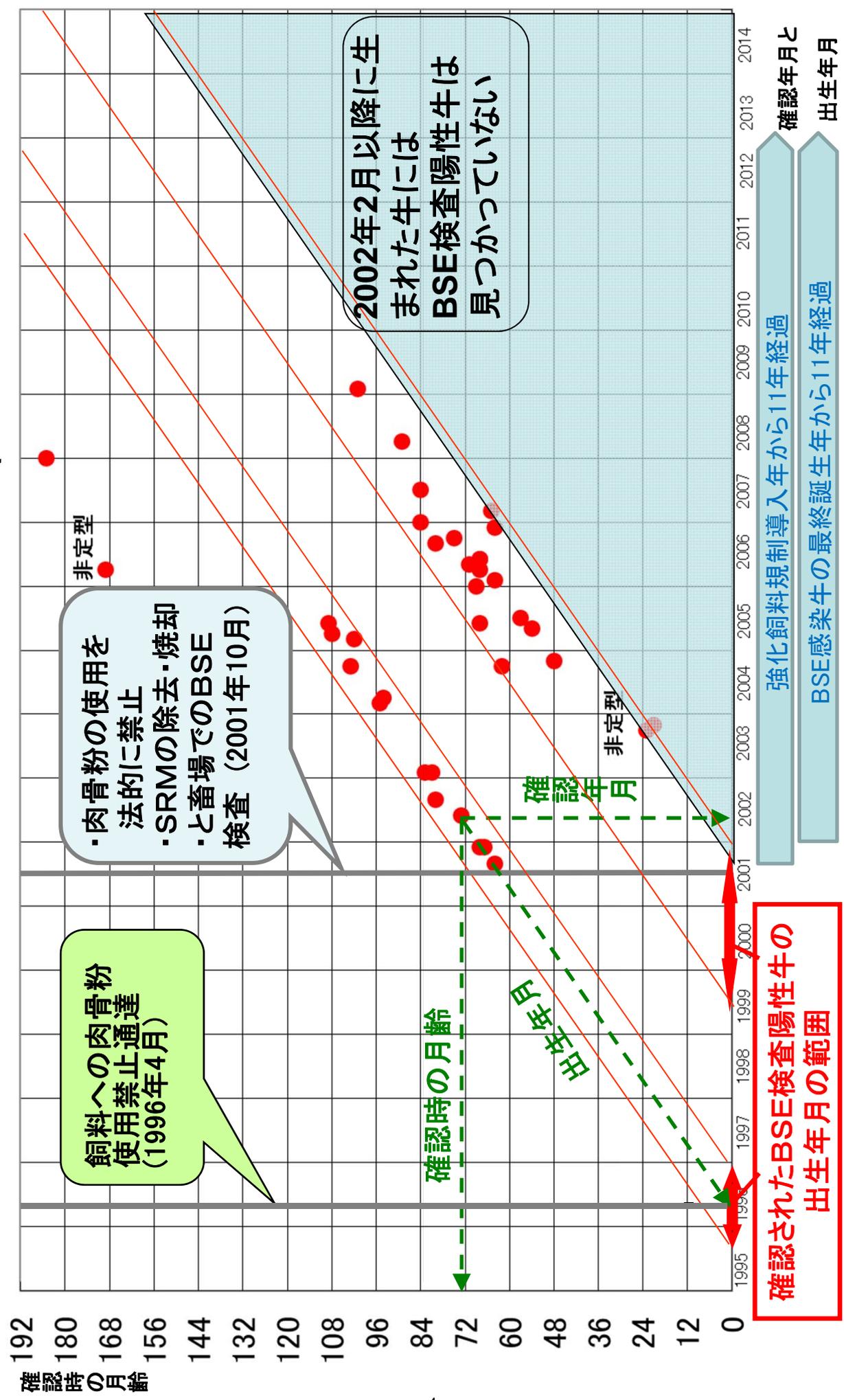


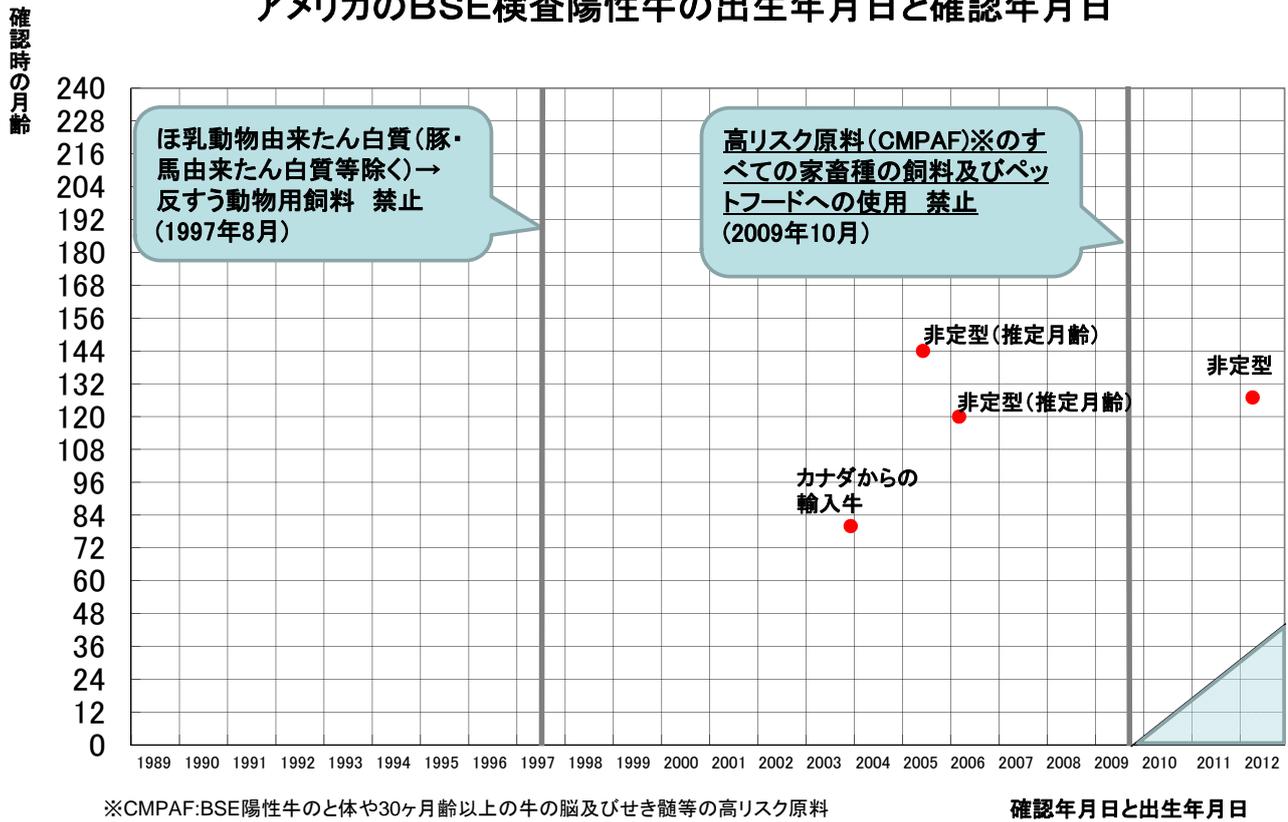
日本のBSE検査陽性牛の出生年月と確認年月(暫定版)

2013年2月現在

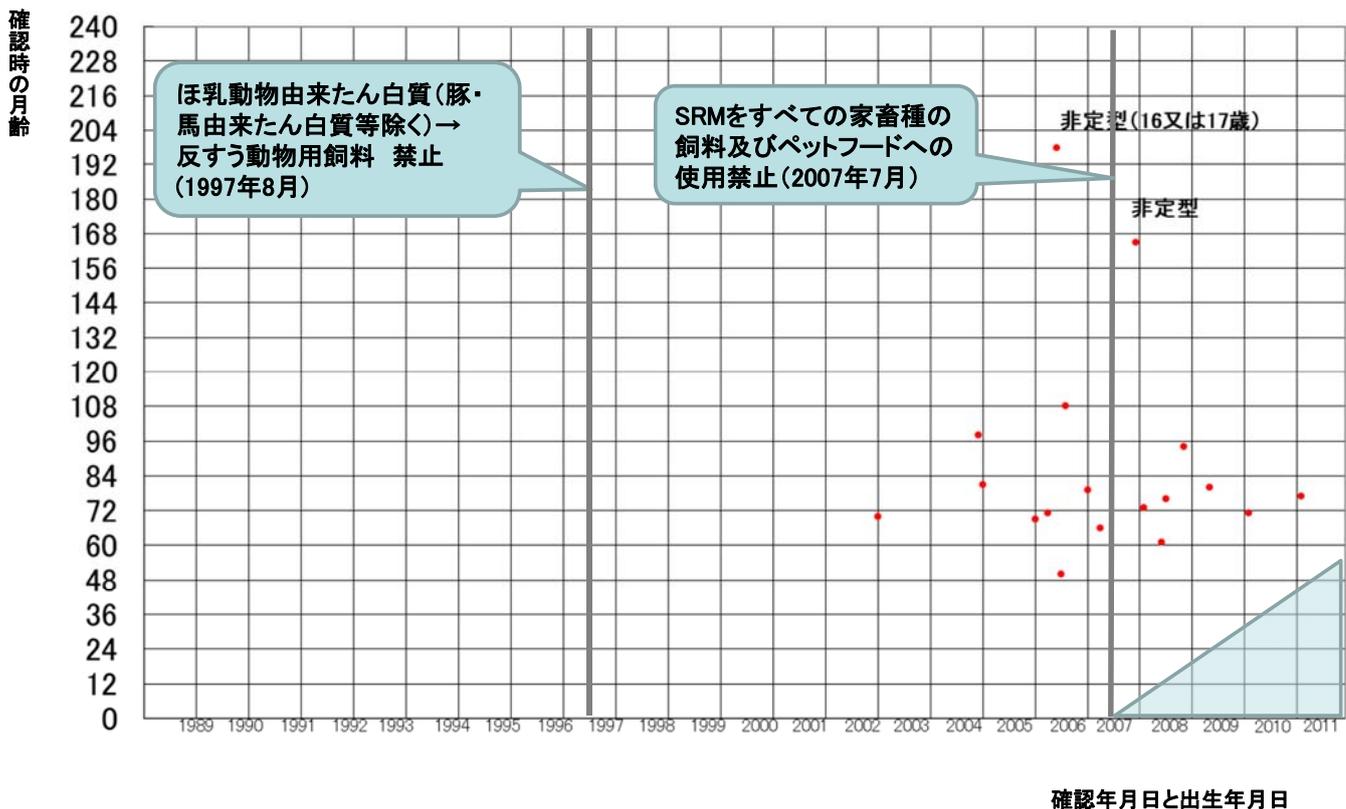


○縦軸は牛の年齢(月齢)、横軸は年月で、点は確認された年月と、その時の月齢を示している。
○斜線は牛の成長を示しており、点から斜線を左下に辿り横軸と交わった点が生年月を示す。

アメリカのBSE検査陽性牛の出生年月日と確認年月日

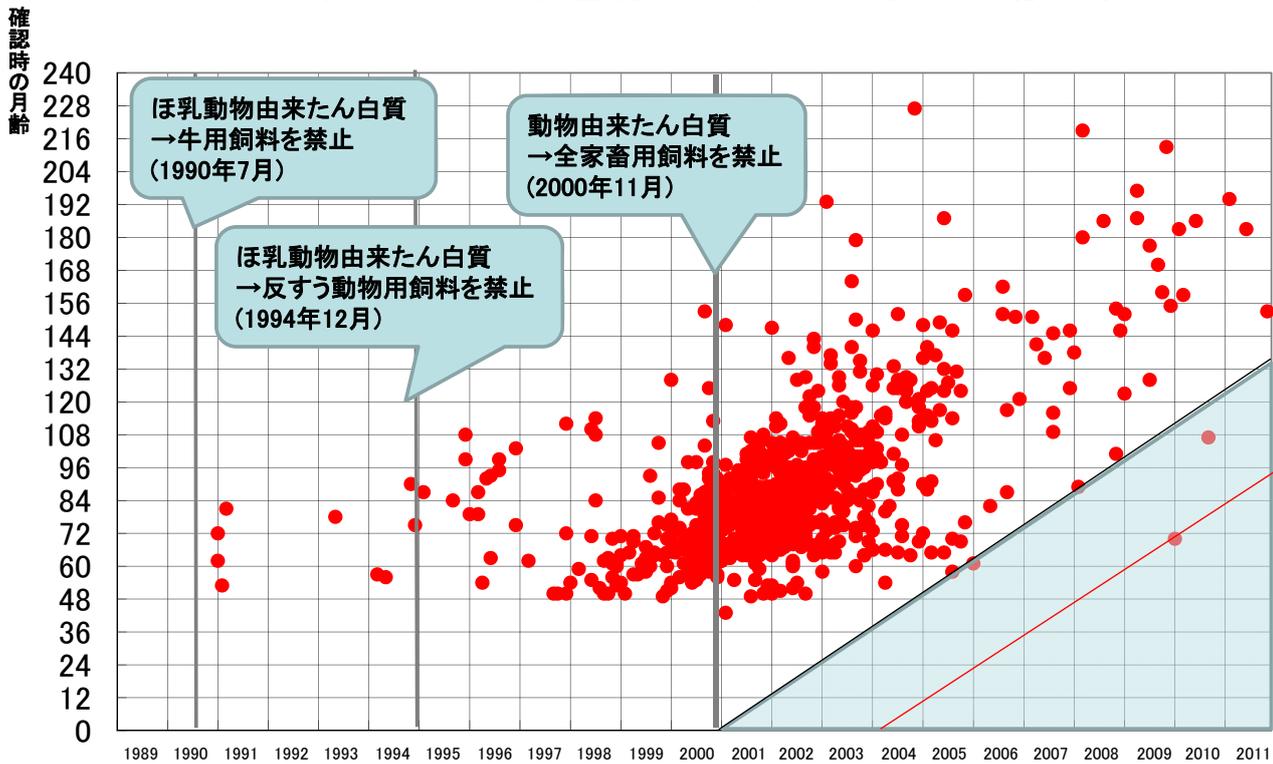


カナダのBSE検査陽性牛の出生年月日と確認年月日



フランスのBSE検査陽性牛の出生年月日と確認年月日

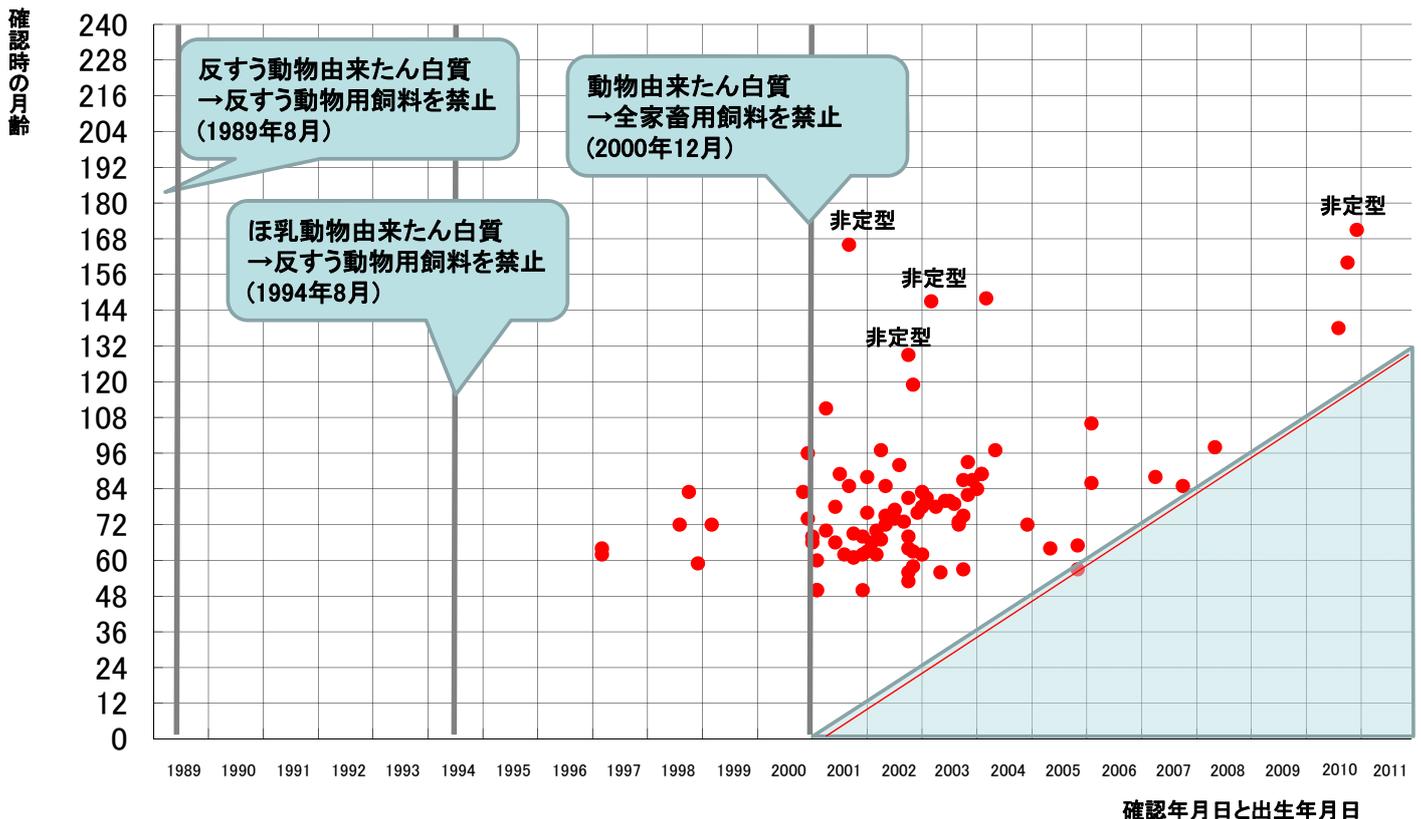
(暫定版)



(定型BSEと非定型BSE両方含まれる。)

オランダのBSE検査陽性牛の出生年月日と確認年月日

(暫定版)



国毎の感染確認月齢一覧表

(単位：月)

国名	日本* ¹	アメリカ* ²	カナダ* ³	フランス* ⁴	オランダ* ⁴
月齢の 範囲	48～185	—	50～97	43～227	50～171
平均月齢	80	—	76	86	80

* 1：非定型 BSE の 2 頭及び定型 BSE のうち 30 月齢未満で感染実験において感染性の認められなかった 1 頭を除く。

* 2：自国産牛で定型 BSE は確認されていない。

* 3：月齢の範囲及び平均月齢は定型 BSE のみ。

* 4：月齢の範囲・平均月齢とも定型と非定型 BSE を含む。

BSEプリオン感染実験 (Arnoldら 2007年) 英国 VLA ～BSE実験感染牛におけるPrP^{Sc}検出及び潜伏期間の経時的関係～

BSE感染牛脳幹100gまたは1gを牛に経口投与し、BSEを発症した潜伏期間(月)及び各組織でのBSEプリオンの検出時期を求めた。

1. BSE感染牛脳幹100gを経口投与

感染後月数(mpi)	30	32	36	38	40
臨床症状					
中脳、延髄、せき髄					
背根神経節					
三叉神経節					
SRM					

2-1. BSE感染牛脳幹100gを経口投与

感染後月数(mpi)	30	32	33	35	39	41
臨床症状						
中脳、延髄、せき髄						
背根神経節						
三叉神経節						
SRM	*					

*30～32 mpi **33～35 mpi

2-2. BSE感染牛脳幹1gを経口投与

感染後月数(mpi)	30	44	51
臨床症状			
中脳、延髄、せき髄			
背根神経節			
三叉神経節			
SRM			

出典: M. E. Arnold et al. 2007. Journal of General Virology(88)3198-3208.

Estimating the temporal relationship between PrP^{Sc} detection and incubation period in experimental bovine spongiform encephalopathy of cattle

注1: 本実験は4～6か月齢の子牛を対象としたため、ウシの月齢としては感染後月数にこれが増算される。

注2: 1g投与群において、脳に異常プリオンたん白質は42か月目(46か月齢相当以上)までは不検出。

英国における牛経口投与実験(1g)

BSE野外感染牛の脳幹1gホモジネートを4-6か月齢時に経口投与された牛の中枢神経系をELISA、WB、IHCで検査。

投与後月数	3	6	9	12	18	24	30	36	42	44	48
陽性頭数/検査頭数	0/6	0/6	0/6	0/6	0/6	0/6	0/6	0/6	0/6	<u>1/1</u>	0/6
投与後月数	49	51	54	60	65	66	71	72	77	78	
陽性頭数/検査頭数	0/1	1/1	0/5	0/6	0/1	1/5	0/2	1/3	0/1	1/4	

Arnold et al. , J. Gen. Virol. , 2007, 88, 3198-3208.
 Simmons et al. , Vet. Pathol. , 2010, 48, 948-63.